

一級河川 烏川（上流工区）河川改修事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げて
流せる水の量を増やします地元
の声

・自宅の前の堤防が周りよりも低い(堤防が無い)ので大雨が降ると心配です。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市町屋町～下室田町
- 事業内容: 堤防整備3,250m
- 事業期間: 平成30年度～

- 現況流下能力: 約720m³/s
- 計画流量 : 1,300～1,700m³/s

事業前

- ◆ 堤防の高さが低いため、洪水時に浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 堤防を高くすることにより、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。



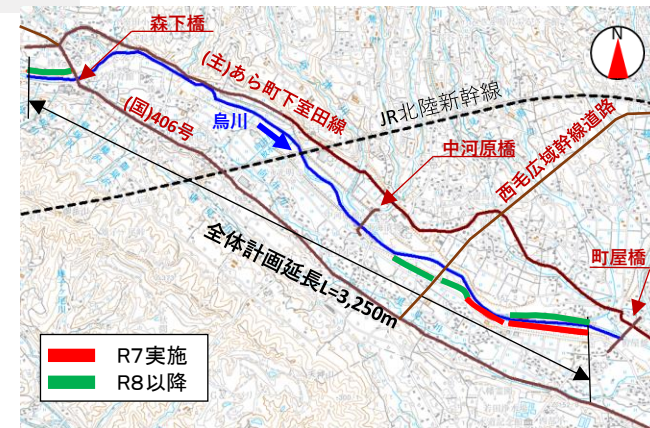
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	77.8ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	530戸

実施後(目標)
0ha
0戸



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、引き続き堤防予定地の用地取得を実施し、用地取得できた箇所から工事着手します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了